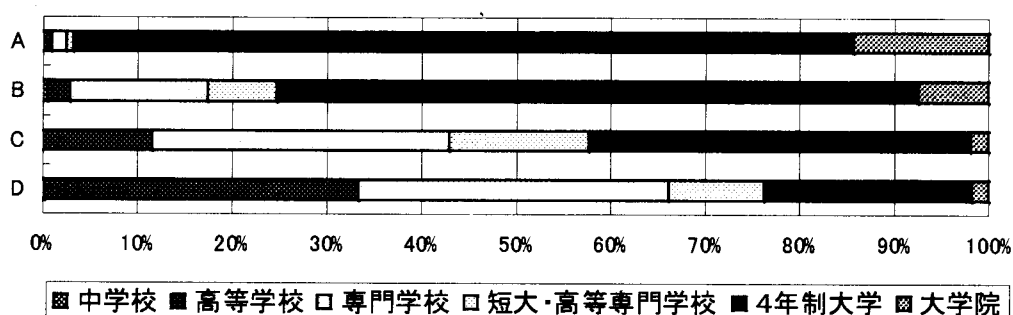


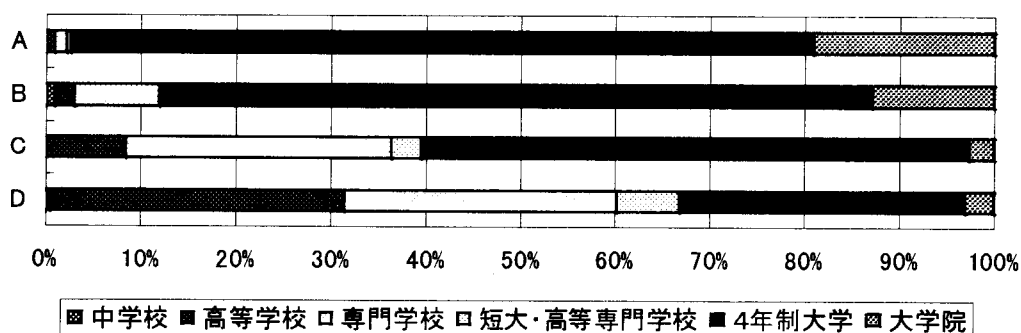
第3節 大学進学率および学校立地との関係

本節では、逸脱行動を進路希望傾向、大学進学率や学校立地との関係から考察したい。はじめに、調査対象の高校生のある籍する大学進学率と進路希望との関係では、全体では大学以上（4年制大学・大学院、以下同じ）を希望する者が多い（図5-9）。特に、最上位ランクの高校では9割が大学以上を希望しており、男女による違いは見られない。大学以上を希望する割合は、上位ランクの高校でも7割である。しかし、下位ランクの高校では4割、最下位ランクの高校では2割と減少し、性別では女子の大学以上希望割合は男子より少ない。

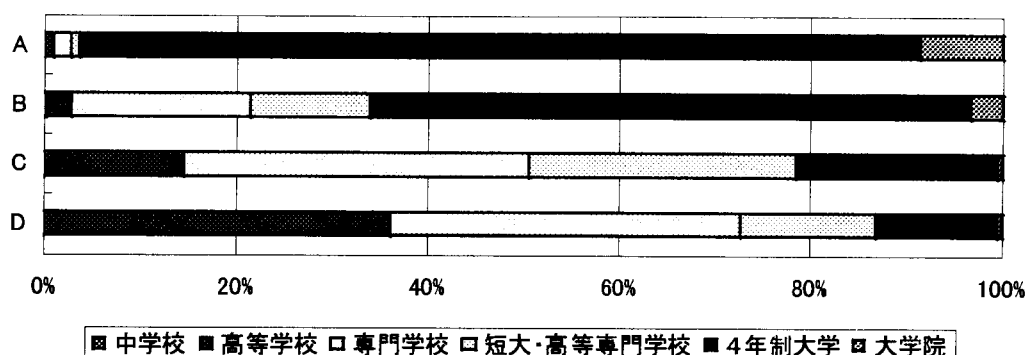
図5-9 大学進学率別本人の進学
大学進学率別本人進学希望率(全体)



大学進学率別本人進学希望率(男子)

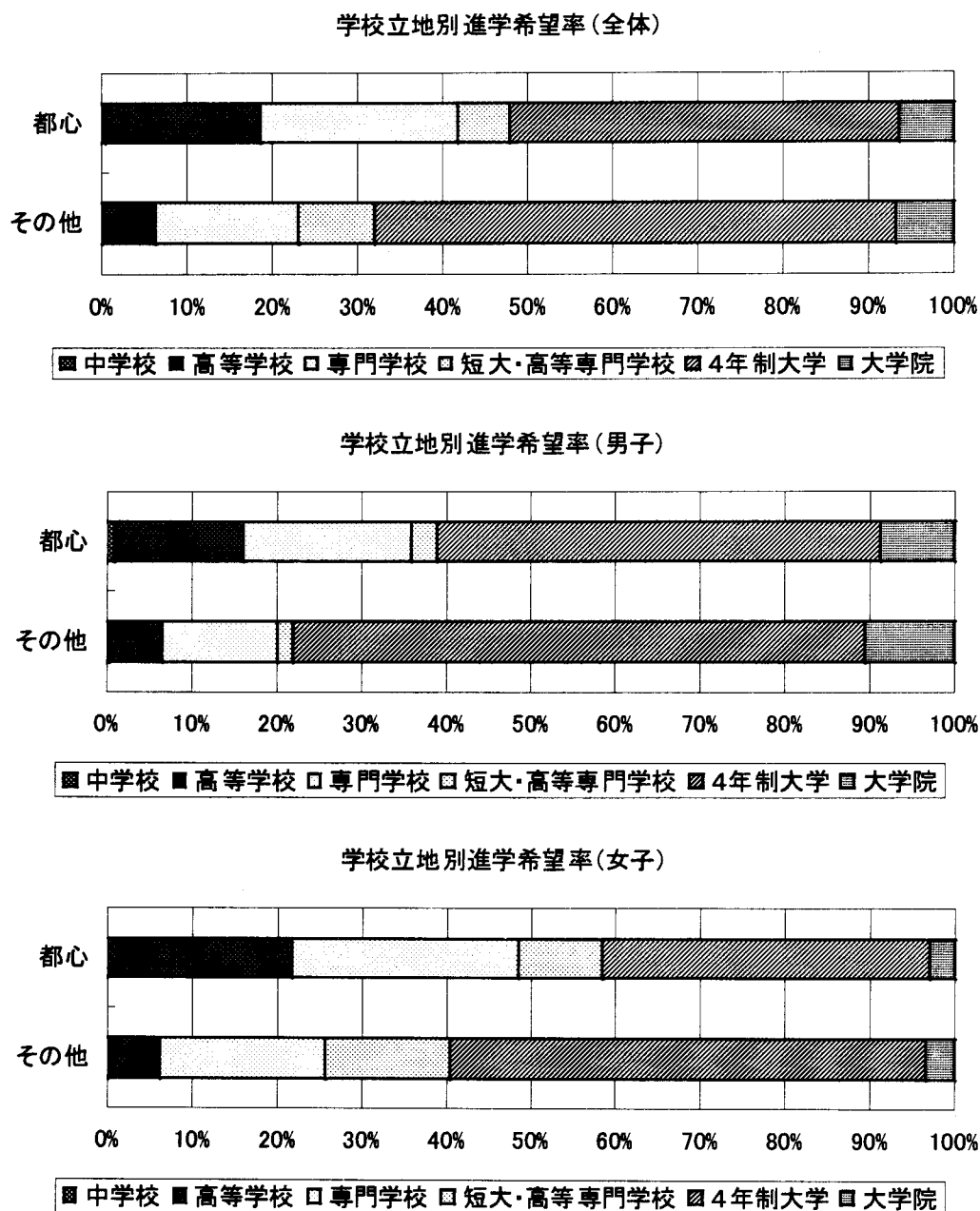


大学進学率別本人進学希望率(女子)



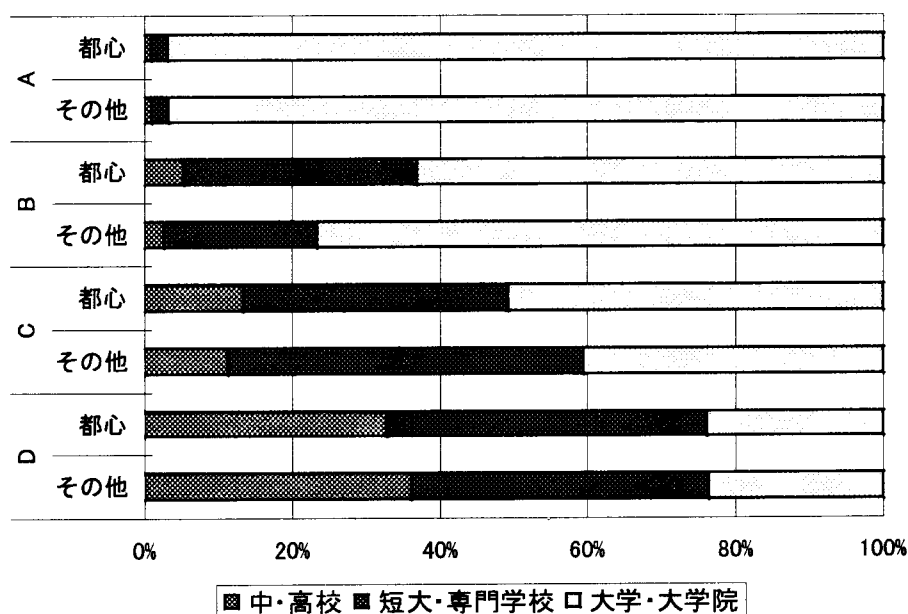
調査対象者の学校立地と進学希望との関係では、「都心」より「その他」の地域の高校生の方が大学以上を希望する割合が高い（図5-10）。この傾向については、性別による違いは見られない。

図5-10 学校立地別進学希望率



進学希望と学校立地と大学進学率との関係では、大学進学率の最も高い高校では大学以上を希望する割合が最も多く、学校立地別による違いはみられない(図5-11)。大学進学率2番目に高い高校を学校立地別に比較すると、「都心」に立地する高校では大学以上を希望する者は多いものの、大学以上を希望する者の比率は「その他」の地域の方が多い。大学進学率3番目の高校を学校立地別に比較すると、「都心」に立地する高校の方が「その他」の地域に立地する高校より大学以上を希望する者の比率が多い。大学進学率が最も低い高校では大学以上を希望する者は2割であり、学校立地別による違いはみられない。

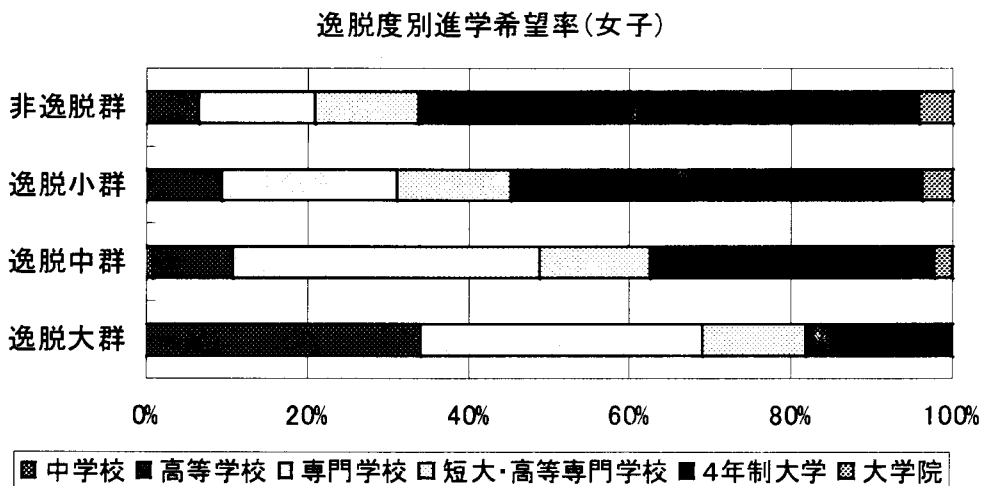
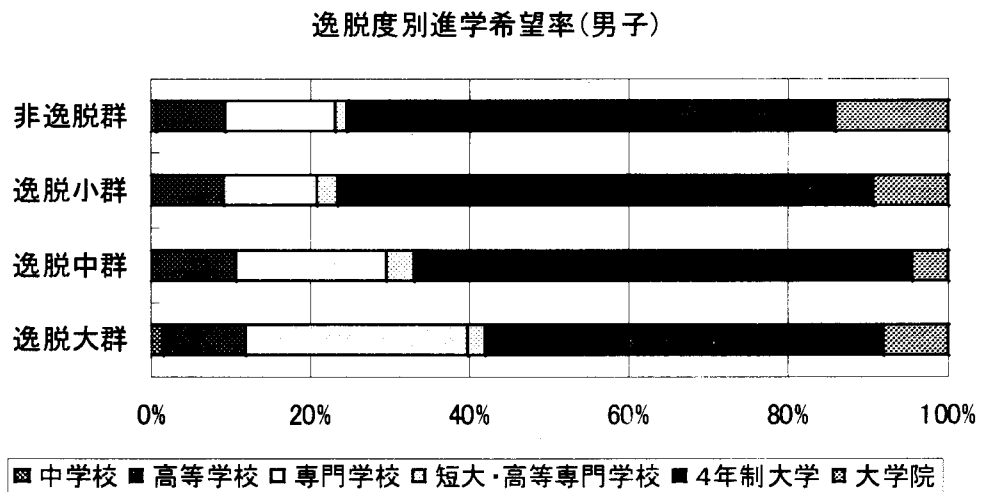
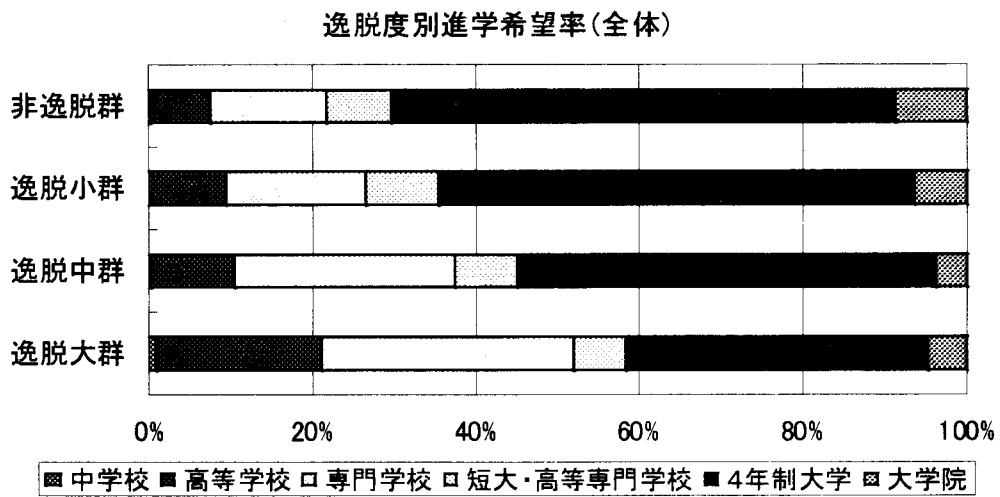
図5-11 大学進学率別及び学校立地別にみた進学希望



次に逸脱度と進学希望や大学進学率との関係について考察したい。本節で扱う逸脱度は、「逸脱度変数2」(「非逸脱群」、「逸脱小群」、「逸脱中群」、「逸脱大群」)である。

逸脱度の割合が少ないほど大学以上を希望する割合が高い(図5-12)。つまり、逸脱度が高いほど、大学以上を希望する割合は低くなる。逸脱度と進学希望との関係については性別による違いは見られない。

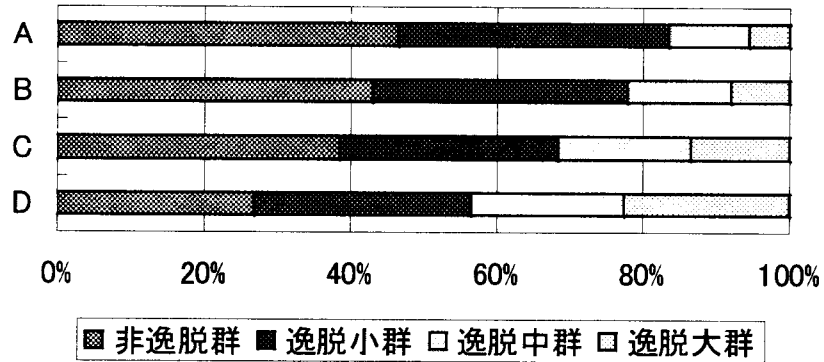
图5-12 逸脱度別進学希望



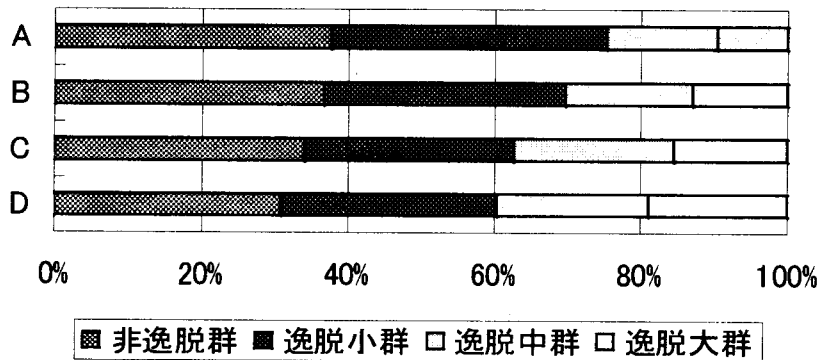
逸脱度と大学進学率との関係も、大学進学率が低くなるにつれて、逸脱度の割合が高くなり、性別による違いは見られない(図5-13)。

図5-13 大学進学率別逸脱度

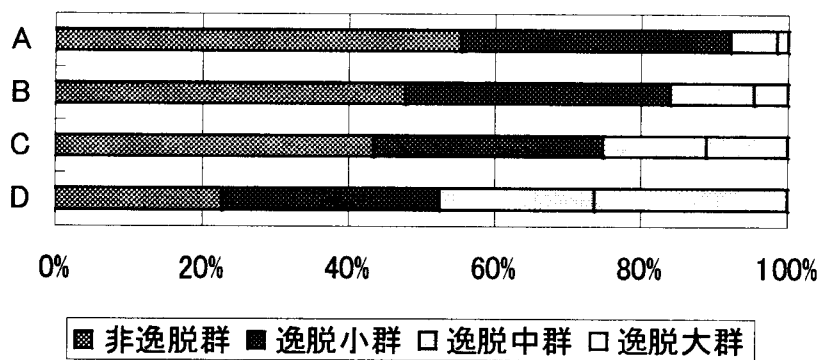
大学進学率別逸脱度(全体)



大学進学率別逸脱度(男子)



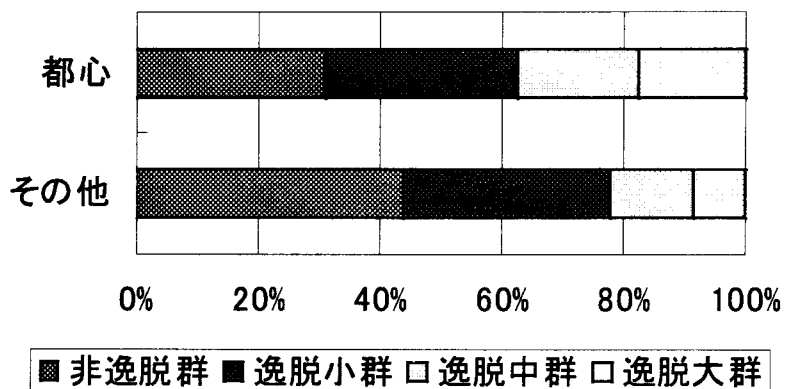
大学進学率別逸脱度(女子)



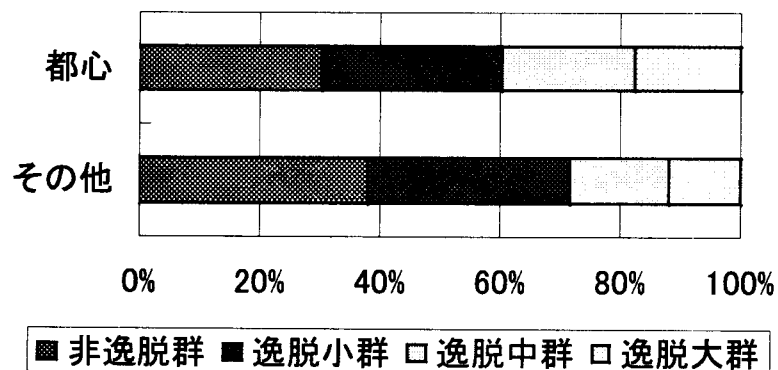
逸脱度と地域との関係では、「都心」の方が「その他」の地域よりも逸脱度の割合が高い（図5-14）。性別では、男子の方が逸脱度は高いものの、「都心」では男女の逸脱度に違いはみられない。

図5-14 逸脱度と地域

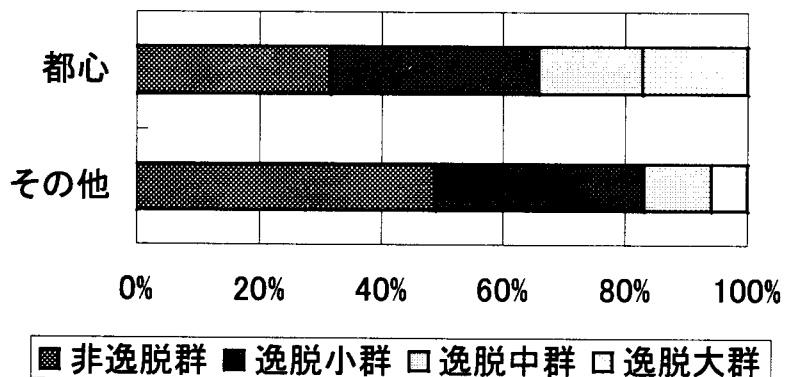
逸脱度変数2と地域(全体)



逸脱度変数2と地域(男子)

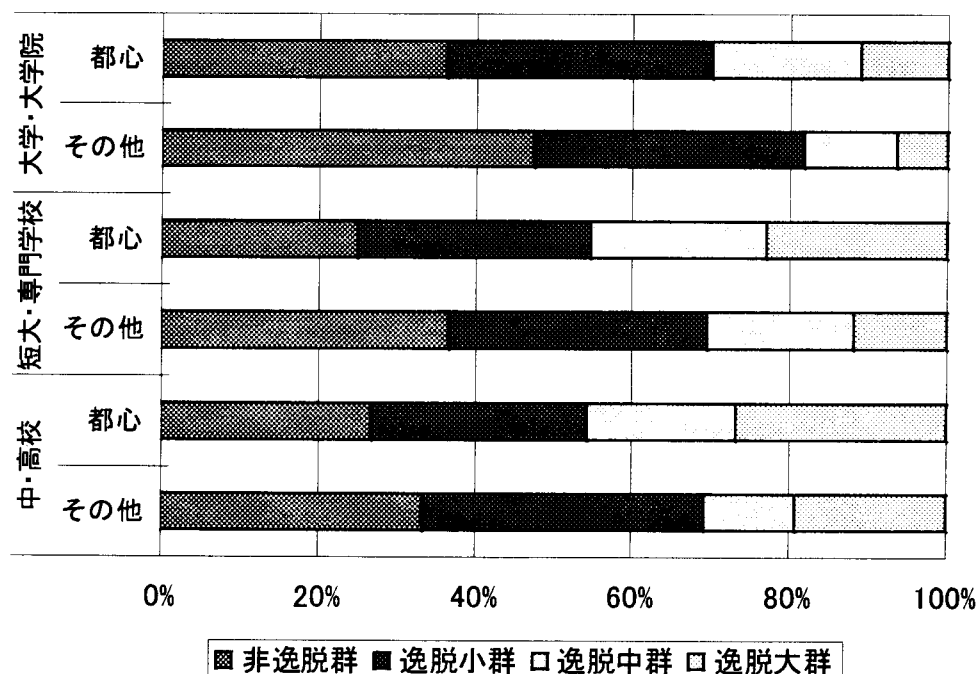


逸脱度変数2と地域(女子)



逸脱度と進学希望と地域との関係では、進学希望に関係なく、「都心」地域の方が「その他」の地域よりも逸脱度が高い（図5-15）。

図5-15 進学希望・地域別にみた逸脱度

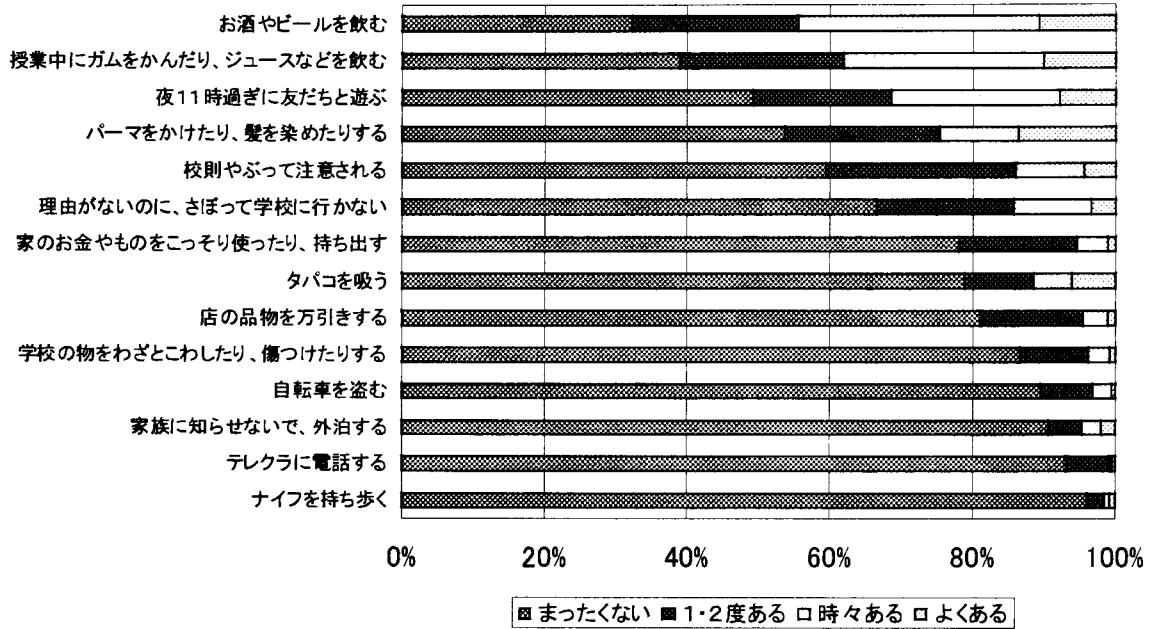


次に、希望進路別に逸脱行動を詳細に検討したい（図表5-16）。大学以上を希望する者の中で経験率が高い逸脱行動は、「お酒やビールを飲む」、「授業中にガムをかんだり、ジュースを飲む」、「夜11時過ぎに友だちと遊ぶ」といった行動である。

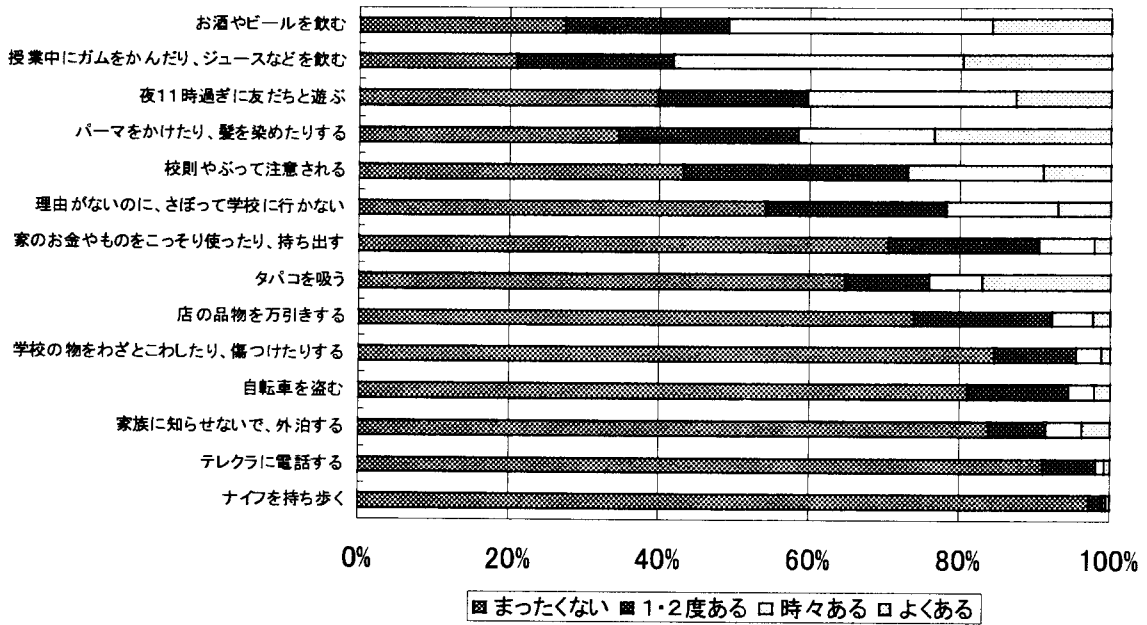
短大・専門学校進学希望者は、「授業中にガムをかんだり、ジュースを飲む」、「お酒やビールを飲む」、「パーマをかけたり、髪を染めたりする」、「夜11時過ぎに友だちと遊ぶ」の順に経験率が高い。高校卒希望者は「授業中にガムをかんだり、ジュースを飲む」、「お酒やビールを飲む」、「パーマをかけたり、髪を染めたりする」、「夜11時過ぎに友だちと遊ぶ」の順に経験率が高い。「お酒やビールを飲む」は進学希望との関係にかかわらず経験率に大きな違いは見られないものの、「授業中にガムをかんだり、ジュースを飲む」、「パーマをかけたり、髪を染めたりする」などは大学以上希望者よりも短大・専門学校、高校卒希望者の方が経験率は高くなっている。一方、「ナイフを持ち歩く」や「他人の自転車を勝手に使ったり、盗んだりする」といった行動はどの進学希望においてもほとんど違いはみられない。

図5-16 進学希望別逸脱行動

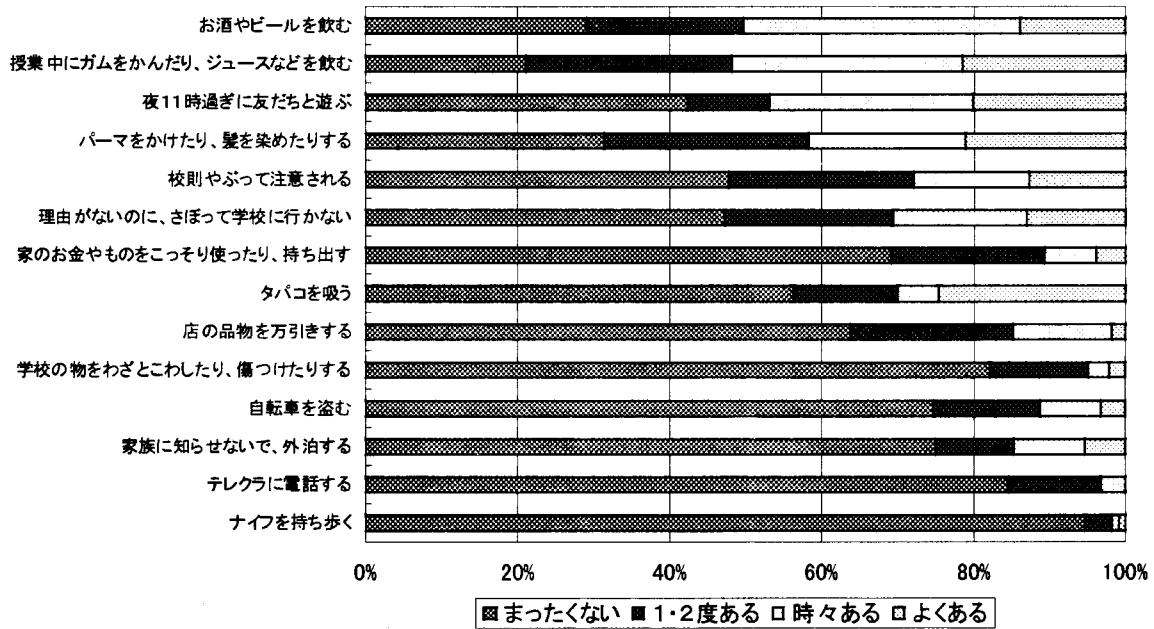
大学・大学院希望者の逸脱行動



短大・専門学校希望者の逸脱行動



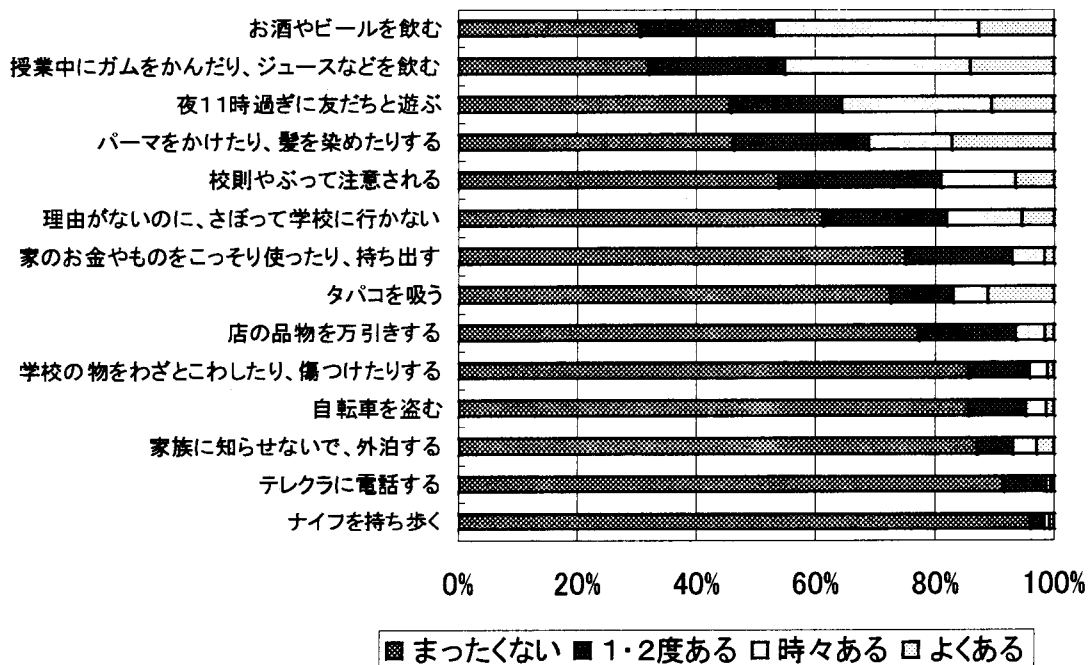
中学・高校卒希望者の逸脱行動



地域と進学希望によって逸脱行動の割合が異なることが明らかになった。そこで、本調査で経験率の高かった逸脱行動と地域と進学希望との関係について見てみたい。

本調査の回答者全体（図5-17）で経験率が比較的高かった逸脱行動は、「お酒やビー

図5-17 逸脱行動(全体)

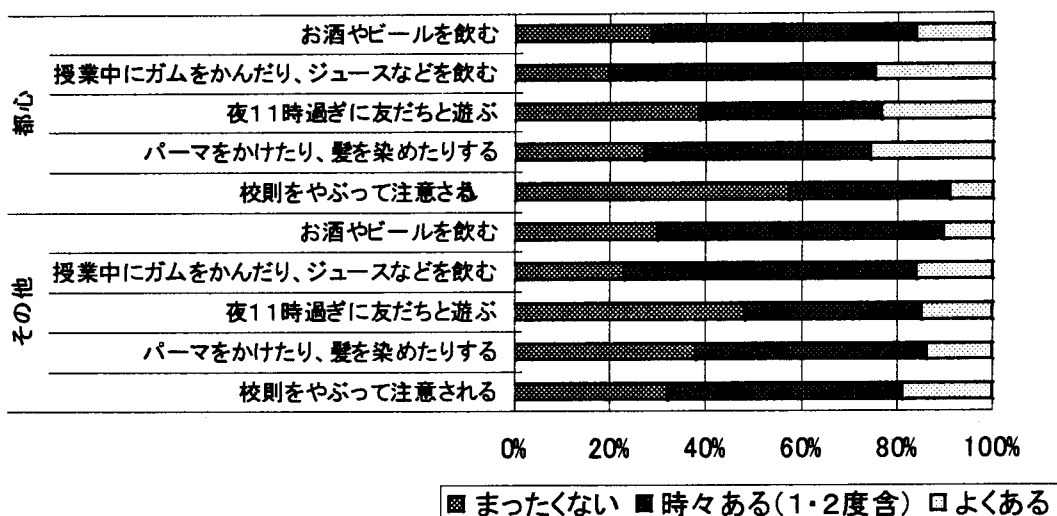


ルを飲む」(69.5%)、「授業中にガムをかんだり、ジュースなどを飲む」(67.9%)、「夜11時過ぎに友だちと遊ぶ」(54.1%)、「パーマをかけたり、髪を染めたりする」(53.7%)、「校則をやぶって注意される」(46.2%)であった。

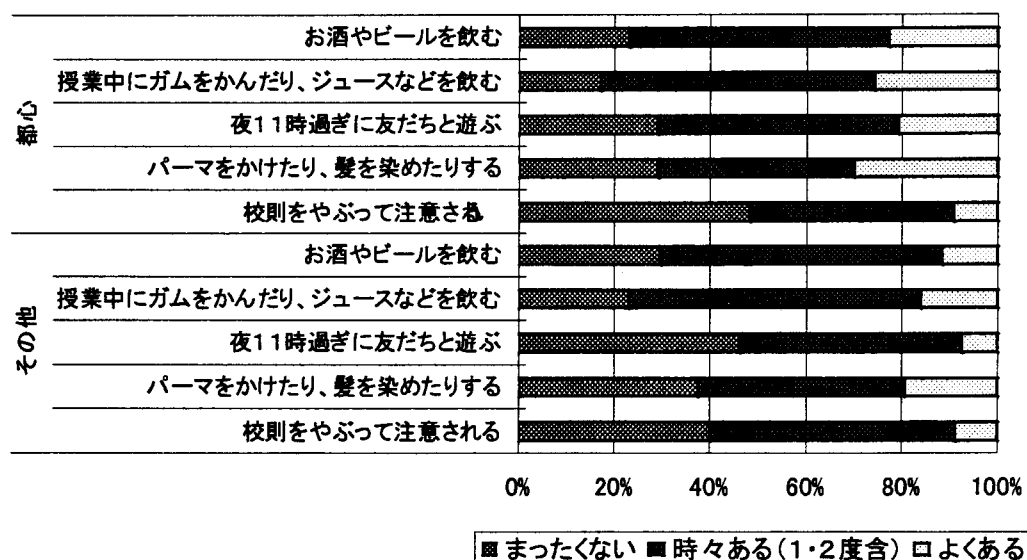
以下では、これら5つの行動を中心にとりあげる。大学以上に進学を希望する者もこれらの逸脱行動をとる割合は高かった。これらの行動が希望進路や地域では異なるのかどうかをみると、「お酒やビールを飲む」や「授業中にガムをかんだり、ジュースなどを飲む」、「夜11時過ぎに友だちと遊ぶ」は、地域に関係なく、短大・専門学校希望者の経験率が高い(図5-18)。ただし、「お酒やビールを飲む」は「都心」の大学以上希望者も経験

図5-18 進路・地域別逸脱行動

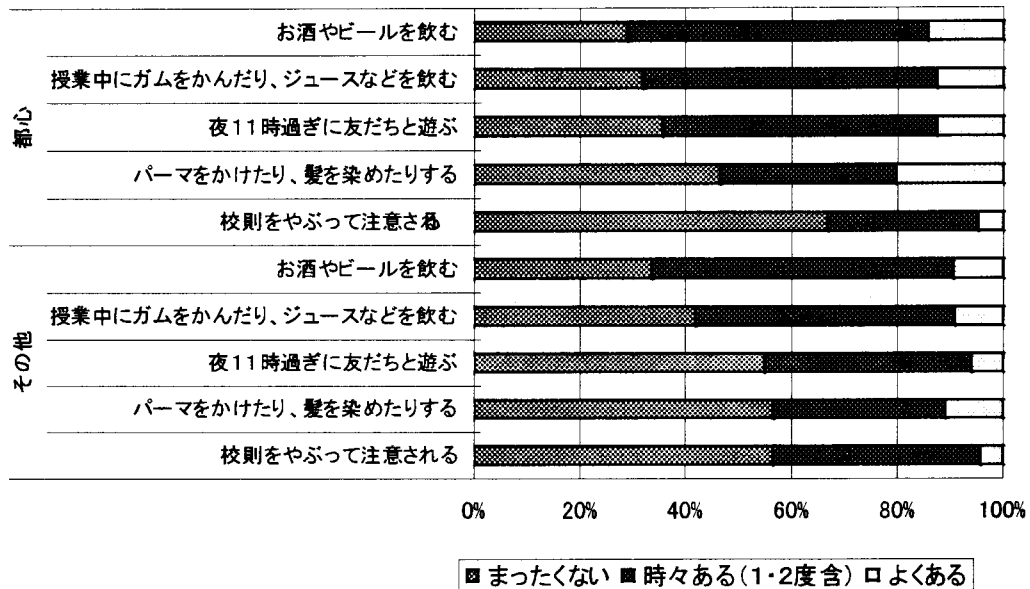
中・高校希望者地域別特徴的な逸脱



短大・専門学校希望者地域別特徴的な逸脱



大学・大学院希望者地域別特徴的な逸脱



率は高く、「その他」地域の高校卒希望者や短大・専門学校希望者より経験率が高い。

「パーマをかけたり、髪を染めたりする」では、「都心」の高校生の方が「その他」地域より経験率は高く、高校卒希望者と短大・専門学校進学希望者に多い。「校則をやぶって注意される」は、「その他」地域では高校卒希望者に多いものの、「都心」では短大・専門学校希望者に多い。

「お酒やビールを飲む」といった行動は、地域・希望進路に関わらず経験率は高い傾向にある。一方、「校則をやぶって注意される」といった行為は、「その他」地域の高校卒希望者に最も多い。「都心」の高校卒希望者と短大・専門学校希望者の方が「その他」地域の者より逸脱経験率が高い傾向にある。「都心」の方が「その他」の地域よりも逸脱行動をおこしやすい環境にあるのかもしれない。